



# 団 風

第24号

発行日 平成20年12月7日  
 機関紙命名 鵬雲斎大宗匠  
 題字揮毫 納屋宗淡師  
 発行所  
 (社)茶道裏千家淡交会青年部  
 近畿第一ブロック  
 発行人 近畿第一ブロック長  
 植田 仁啓  
<http://www.chakai.com/>  
 裏千家ホームページ  
<http://www.urasenke.or.jp>



## 国際交流研修 IN サイパン





### 次年度ブロック長挨拶

平成二十二年年度ブロック長 岡本 政明

皆様こんにちは。次年度、近畿第一ブロックのブロック長に拝命いただいた岡本政明と申します。今年度は副ブロック長として皆様には大変お世話になりました。ありがとうございます。次年度は皆さんを引っ張っていくブロック長として頑張りますので引き続きご支援の程、お願い申し上げます。さて、淡交会青年部は他の諸団体と同じくして会員の減少に悩まされております。各青年部におかれましても部員数が年々減少し活動して行くにも支障をきたしてまいりました。若い人たちが減っていくこの世の中では当たり前と言えは当たり前のことですが何故減少しているのかをじっくり考える必要があると思います。茶道そのものに魅力がないのでしょうか？そんなことはなく昔も今も茶道には素晴らしい魅力があります。ではなぜでしょうか？身近な青年部の活動を振り返りますと皆さん行事に追われて一つ一つの行事を終わらせることに一杯いっぱいなのが現状で出席するメンバーも毎回同じメンバーばかりではないでしょうか。せっかく一生懸命に活動しているメン

バーもその人ばかりに負担が掛かりイヤになってしまおうと言う悪循環になってしまっているのではないのでしょうか。元来、茶道は皆さんにとつて興味深く、楽しい、おもしろい物でした。次年度はそんな状況を作り皆さんに楽しんでいただける近畿第一ブロックにしたいと思っております。そしてその活動の結果でメンバーの輪をより以上広げて会員数を増やしていきたいと思っております。そのためにはどうするかを真剣に考え、取り組んで行く所存です。「やるべきはやる やって当たり前」当たり前と思えば不満も出ません。皆さんにそう思っていたらどうでしょうか。皆さんはやる やって当たり前」の気概で私自身は頑張つてまいります。皆さんもぜひ一緒に活動し楽しい近畿第一ブロックを作つていきましょう。ご協力をよろしくお願い申し上げます。



### 出合いを絆に

平成十九二十年度幹事長 大藪 真弓

この二年間を振り返りますと、様々な思い出が蘇つて参ります。

植田ブロック長のリーダーシップのもと、ブロックの伝統を引き継ぎながらも慣習に捕われることなく、新しい事業への取り組みにも力を注いで参りました。

今期は、お茶を通じてお互いより積極的にコミュニケーションを取り合い、その交流の中からお茶について語らう事の楽しさや、仲間との連帯感を感じて頂ける様な活動を目指して参りました。少し饒舌気味な？ ブロック長の周りにはいつも楽しい語らいの場がたくさんあり、その中から次代を担う方々との新しい出合いや交流が、各事業の運営と新しい発想に大きな力を生み出して頂けたと感じております。

特に平成二十年度はサマーコンファレンスや国際交流研修、ブロック研修会等大きな事業に参加して頂く機会も多く、新しいメンバーが連鎖反応のように次の事業に参加し、その次にはスタッフ側へと固定の参加者の顔ぶれが増えて行ったことも、嬉しい成果でございます。

力不足で充分なお手伝いもできませんでしたが、何より私自身が充実した楽しい二年間を過ごさせて頂いた事、これからもずっと大切にしていきたい多くの出合いを頂いた事に御礼申し上げます。この出合いは絆に深まり、今後のブロックの大きな力となっていく事と思っております。この貴重な機会をお与え下さいました大宗匠様、お家元様はじめ総本部の方々、温かいご指導を頂きました親先生方、青年部の多くのお仲間の皆様にも心より感謝申し上げます。

## ◆ご挨拶◆



### 語り合い、そして行動へ

平成十九二十年度ブロック長 植田 仁啓

あつと言う間の二年間が過ぎようとしています。今期、近畿第一ブロック長を拝命します。「お茶を語ろう、自分を語ろう」をテーマに掲げメンバー同士はもとより、親先生やお隣の青年部との対話の大切さを強調いたしてまいりました。もちろん充分な形ある成果を出せたわけではありませんが、「ブロックだから出来ること、ブロックでないと出来ないこと」に重点を注ぎ、

昨年の「お茶で一服、落語で一服」ではまさに落語ブームを先取り、笑いやばいの席となりました。また念願だった両丹、宮津、但馬三支部合同によるブロック会員大会は絶景の天橋立を真前に開催することが出来ました。そして、本年のブロック茶会に始まり九月には二度目の海外研修「国際交流研修INサイパン」の実現をみました。この事業の意義は極めて高く奉茶を通じ

て「一盤からピースフルネスを」を体感いたしました。また、現地の皆様に向けた交流茶会では「茶の湯は日本のポータルサイト」であることの確かな確認の場となりました。その他、裏研との合同茶会や役員茶事など本場に多くの語り合機会をいただくことが出来ました。

この「語り合い」がまたひとつ青年部活動への糧となり、次のステージへ、そして行動へ連なることを心より念じております。最後になりましたが、このすばらしい機会をお与えいただきました、お家元、大宗匠そして総本部、親先生に感謝の意を申し上げますと共に二年間ご協力いただきました青年部の皆様方に厚く御礼申し上げます。



平成十九年二月四日  
場所/ウイングス京都

ウイングス京都において近畿第一ブロック「ブロック協議会」が開催されました。最初に植田ブロック長の半席、大藪幹事長の点前で和やかな茶席が設けられ、続く協議会では出席者同士の絆を深めながら二年間の活動の指標となる委員会会議をはじめ新体制による力強いスタートが感じられました。



〈スケジュール〉  
13:00~14:50 受付・茶会  
15:00~16:20 協議会・委員会  
16:20~16:40 全体会議  
16:40 終了



### 「お茶で一服、落語で一服」

平成十九年五月十三日  
場所/上七軒歌舞練場

花見団子の提灯が風情豊かな上七軒歌舞練場で、「お茶と落語」をテーマに魅力ある青年部づくり委員会主催による研修会を行いました。

時の茶人とも交流があったといわれています。朝席では、裏千家ゆかりの西方寺写しのお茶室で、落語をテーマにした楽しい趣向に溢れたお茶席、テラスでお弁当を広げた後は、午後から伝統文化の若き担い手、落語家の桂春菜さんのお茶をテーマにした古典落語の鑑賞や植田ブロック長と春菜さんの対談と盛りだくさんの内容でした。



▲春菜さん 茶室前で



▲スペシャル対談

植田丸のトップバッターとして十九年五月に「お茶と落語」をテーマに上七軒の歌舞練場で研修会を開催しました。最初の研修会として皆さんが心から楽しんで頂ける会にしたいと思いつ画しましたが、蓋を開けるまでドキドキの毎日でした。でも当日お茶室から出て来た皆さんの笑顔、落語が始まるまでの皆さんの大笑いの声を聞くにつけ、ホッとした反面、この研修会をした事で自分の中で二年間のブロック行事も頑張れるパワーをもらえたと思います。また私を支えてくれた魅力ある青年部づくり委員会の皆さんに感謝です。

副ブロック長 藤原奈緒美



# 合同茶会

平成十九年六月十七日  
平成二十年六月二十二日  
場所/妙心寺龍泉庵

■学生と青年部のコラボレーション茶会が妙心寺塔頭龍泉庵で開催されました。

京都を中心に近畿二十二の大学で構成される裏研（裏千家学生茶道研究会）と近畿第一ブロックによる合同茶会は今年で三年目となりました。昨年は「潤」をテーマにそして本年は「源氏物語」をテーマに学生ならではの軽やかでエネルギー溢る薄茶席と、私たち青年部が学生向けの勉強席を兼ねた濃茶席を設けました。普段はそれぞれに裏千家茶道を学んでいる二つの団体が、良きパートナーとしてそのコラボはますます期待したい事業です。



▲ブロック濃茶席



▲学生薄茶席▲



▲ブロック濃茶席



▲学生薄茶席▲



# 平成二十年 源氏物語

■平成十九年二十年の裏研合同茶会を振り返って

副幹事長

石原 義清

昨年に引き続き、大学生の方々とお茶会を催し、多くの関わりを持つことが出来ました。私自身がいわゆる「学茶」出身でもあるので、後輩達とこうした機会が得られることに幸せを感じています。できることなら、来年もまたこうした茶会ができるなら学茶一席・青年部一席ではなく、合同の水屋で席を持つことができればいいのになあと感じた次第です。ありがとうございました。



# 会員大会

平成十九年八月二十五日・二十六日  
場所/みやび歴史の館・文珠荘

■青年部 魅力再発見「すてきな笑顔に出会う二日間」が京都北部の宮津で開催されました。

会員大会特別委員会（両丹支部・宮津支部・但馬支部）の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

三期前に京都を皮切りに始まったブロック会員大会はその後、奈良、滋賀を巡り、今期、念願の北部（両丹、宮津、但馬）三支合同による開催となりました。

今大会には、親支部、青年部延べ二百五十名余りが参加いただき、天橋立に代表される絶景や点在する名刹の中で心に残る茶席や講習会、懇親会など盛りだくさんの内容で、まさに真夏の猛暑を吹き飛ばす大会となりました。



▶濃茶席



◀濃茶席

〈青年部魅力再発見「すてきな笑顔に出会う二日間」〉

- 一日目・みやび歴史の館  
11:00~12:00 受付・呈茶  
12:40~13:10 式典  
13:10~13:30 総本部報告 淡交会理事  
総本部組織部長 那須延明氏  
13:30~14:15 パネルディスカッション  
14:30~16:25 実技講習「床の設えと平花月の式」  
講師 今日庵講師 高橋宗信先生  
16:30 閉会  
18:30~20:45 懇親会 I  
21:00~22:30 懇親会 II

- 二日目・文珠荘  
8:00~13:00 受付  
8:15~ 濃茶席(ブロック役員)  
9:15~14:30 薄茶席(但馬・宮津・両丹支部青年部合同)



▲呈茶席



▲薄茶席



▲薄茶席



▲薄茶席



▲実技講習



▲懇親会



▲二次会

■二年間を振り返って

宮津青年部  
畑 伸治

二年間、ありがとうございました。いや、一年間、ありがとうございました。一年目で燃え尽きてしまい、二年目は何も出来ませんでした。ブロックに参加させていただき、いろいろな事を楽しく学ばせて頂きました。特に、一年目の夏に担当をさせて頂きました会員大会は、とても思い出深く多くの皆様に感謝をする行事でした。

地元、天橋立に、一府三県九支部二十六青年部の皆様が、一同にお集まり頂き、研修会、茶会、懇親会を開催できました事をうれしく思います。植田ブロック長、大藪幹事長をはじめブロック役員の皆様、並びにブロック会員の多くの皆様に心より御礼申し上げます。

ありがとうございました。私は今期で青年部を卒業させていただきますが、今後とも、宜しくお願い致します。



協議会・研修会

本年度の行事を振り返った報告があり、特に八月に開催された念願の北部会員大会では、「魅力ある青年部づくり運動」指針の「お茶を語ろう 自分を語ろう」と親支部、青年部との交流、良い関係づくりが実践された意義ある大会であったことに、改めて感動を思い起こすことになりました。研修会では講師に清水秀樹(株)ヒューマンウエア研究所代表をお迎えして「ピンチはチャンスだ！ 人生はドラマだ！」感謝、感動、感激を体験し、みんなに元気を与えていただきました。



平成19年12月9日/平安会館  
 受付、呈茶 13:15~14:00  
 協議会 14:00~15:00  
 研修会 15:00~16:30



協議会

本年度は、ブロック茶会、サマーコンファレンスや国際交流海外研修など大きな行事が予定されており、会議での意見交換が活発に行われました。講演会には、淡交会参事森田宗圓先生をお迎えして禅語、墨跡についてご講演いただきました。お軸の扱い、亭主の心、拝見する時の心構え等、早速三月開催のブロック茶会で実践することを誓いました。



▲森田宗圓先生

平成20年2月3日/ウイングス京都  
 受付、呈茶 12:15~13:00  
 協議会 13:00~13:30  
 講演会 13:30~15:00  
 委員会会議 15:10~16:00  
 全体会議 16:00~16:15  
 終了 16:15



協議会▶

ブロック茶会

平成二十年三月九日  
 場所/東福寺光明院

東福寺は京都東山にある臨済宗東福寺派大本山の寺院。一三九一年に創建された塔頭光明院で茶会が開催されました。当日は晴天に恵まれ、親支部の先生方はじめ他ブロックや学校茶道の方々をお招きして名庭「波心の庭」を眺めながらの本席、副席、羅月庵(らげつあん)での展覧席、各委員会が交流を深めながら一体感を持ち、「魅力ある青年部」の活動をPRさせていただきました。

【青垣青年部 宮川佳子】  
 三月のブロック茶会では、広報IRTの一員として副席をお手伝いさせていただきました。最初は初めての参加で、初対面の方も多く不安もありましたが、終始和やかな雰囲気の中で一日楽しく過ごさせていただきました。

写真を撮るために本席の水屋にも入らせていただきましたが、狭いながらも効率よくお茶碗や水屋道具などが並べられ、見習う点がたくさんあり今後の為にも色々勉強させていただきました。光明院のお庭はすばらしく、庭を上がった先のお茶室に「展覧席」が設けられていました。お茶室にはお道具が飾ってあり、静かなお茶室でお道具をゆつくり時間をかけて拝見出来るという、なかなか経験する事の出来ない

体験もさせていただきました。忙しい一日でしたが、普段なかなか学ぶ事も多く充実した日を過ごす事が出来ました。皆さま、本当に有難うございました。

【水の郷青年部 堀由紀恵・梅徳雅美】  
 やわらかな陽射しに膨らんだ蕾がほころび始めた三月九日、京都東福寺光明院でのブロック茶会に参加させていただきました。

訪れた春を慶ぶとありあわせの二席にて、四季折々に趣の異なる姿を見せる現代的な枯山水を眺めながらの「一服は、とても素敵な時間となりました。また、お席もさることながら展覧席 羅月庵のお床にかけてある大航老師筆『拈華微笑』」伝えていたいたものに次に伝えていくというお釈迦様が弟子



▲本席



▲副席



展覧席▶

に法を伝えた時の故事が印象に残りました。日々の生活の中では、何かと忙しく余裕もなく過ぎていく時間のなかで、このような素晴らしい空間に出会えたことに感謝する一日となりました。皆さんも是非参加しましょう。

ブロック茶会

副ブロック長  
 米澤 昭博

まだ寒さが残る三月九日晴天の日、洛東は東福寺山内光明院にて開催いたしました。

「大切に育ててこられた近畿第一ブロック。そんな、私達の今のお茶をどうぞ」の思いを込めて、いつも暖かなご支援を頂戴しております親先生方、ブロックの歴史を作ってこられた先輩方、共に歩み学んでいく学校茶道の方々をお招きいたしました。「JR東海のCM」で「京都、行く。」でも紹介された「波心の庭」を囲むように本席、副席と薄茶席。道安園いの名席は春を先取りの展覧席と三席を設えました。前日準備の時に急ぎ、炉から風炉へというアクシデントにも負けず、仲間が集まれば出来てしまう所が青年部です。当日はお客様の笑顔とはずむ声。やっぱりお茶の青年部です。お茶をしている時が一番幸せなんだと再確認いたしました。遠方よりバスを仕立て来て頂いた先生方、なつかしい(怖かった?)先輩方、近畿第一、第三ブロック長他役員の皆様、ありがとうございました。心温まる一日でした。合掌





▲受付



▲名刺交換会



▲参加者へのメッセージ



▲呈茶席



▲懇親会



▲打上げパーティー

一盤からピースフルネスを

# 未来を語り 未来を創り 未来を生きよう

茶の湯は日本のポータルサイト

平成二十年  
七月十八日〜二十日

じりじりと照りつける暑い日差しの中、東京ドームホテルにおいて第三回サマーコンファレンスが開催されました。

全国から五一四名の青年部会員が集い交流を通して親睦を深め、またお家元様はじめ各界で活躍されている講師の方々のお話を拝聴し有意義な時を過ごさせていただきました。

近畿第一ブロックからは三十一名が参加いたしました。

ンバーにも拘わらず、終始和やかな雰囲気、活発に議論がなされました。「社中とは異なる楽しみがある」「気軽にけれど切磋琢磨できる貴重な仲間だ」など様々な意見があり、結果、青年部は誰にとっても心強く、極めて大切な存在であることを改めて確信しました。

私にとってサマーコンファレンスは、茶道を学ぶ上でも、人生を歩む上でも、とても有意義な機会でした。

今回の感動を、茶道を通して多くの方に感じていただけたよう、これからも精進しようと思えます。

ありがとうございました。

## グループディスカッション

【山城青年部 清水 邦美】  
サマコンのグループディスカッションで、私のグループのテーマは理想のリーダー像と、でした。

最初それぞれが自分の理想のリーダー像を話してありました。

まず、リーダー自身が楽しんでいること。熱い想いのある人。一人一人を見ている人。無理強ひせず、各自の状況を理解してくれる（出来る範囲で出来る事をさせてくれる）。など、日頃思っていることを順番に話していききました。

そうするうちに、一つ空いていた席に腰を下ろされた方が、「ん？ 何処かで見たとかな？、宮本委員長が私達のグループディスカッションに参加して色々私達の疑問や悩みに対して答えて下さいました。」

また、お茶の会なので、まずお茶を楽しむ事を考えよう。

さらに、ルール（守らないといけない）ではなく、マナー（出来れば良い）を覚える

## 名刺交換会

【山城青年部 桑原 彩】  
サマーコンファレンス一日目。基調講演も終わりやつとこのことでチェックインをすませパーティー会場へ向かいました。

気づけば開始時間まであとわずか。「遅れる〜」と下駄を鳴らしながら走っている。会場前に待機しておられたお家元が「三三」と笑いながら「こけるで、こけるで」と心配そうに声をかけて下さいました。

パーティー会場では既に全国委員会の方による名刺交換のマナー講習が行われていました。

目上の方には自分の名刺を下に、下に、下に、とお互い床まで下げあつて「どこまで下がるんや？」と笑いを誘い、すでに楽しい雰囲気会場を包んでおりました。

渡辺行政改革大臣や、青年部としては馴染み深い塩崎元官房長官の挨拶などを経て、いよいよ乾杯、食事タイム。（名刺交換は腹ごしらえをしてからという配慮！）

「さあ、いよいよ名刺交換タイムです!!」という司会の方の声と同時に一斉にお家元めがけて走り出す人。あつという間に真ん中のテーブルは人だかりになりました。

近畿第一ブロックのテーブルには倉斗業株先生がいて下さったので一人ずつ並んで名刺交換をさせていただきました。それぞれに時間をかけてお話くださり、今まで遠い存在の業株先生もなんだか身近に感じることができました。

その後は会場を回ってそれまでに知り合っていた人を見つけての交換もあれば、行き当たりバッタリの交換もありました。

今回の名刺にはそれぞれ「マイブーム」を記入してあり、スポーツやテレビ、お茶以外

会として捉え、お茶のおかげで出来る事が増える事を楽しんでいこう、とお話頂きました。

おそらく、各グループに少しずつ声をかけて回っていらつしやる途中でしたように、私達の質問に快く丁寧にお答え頂いて得をした気分がディスカッションを終える事ができました。

青年部のサマコンに参加させて頂くのは前回に続き二回目、そして今回が最後になります。サマコンがより多くを学ぶ事ができる有意義な時間である事は勿論、この楽しさをもっと大勢の方に味わって頂きたい、そして自分自身ももう一度参加させて頂きたいと思つた一日間でした。

## 御家元講演を聞いて

【佐保姫青年部 吉川 暲】  
一つのキーワードが心に残っています。「鏡」

翌日の東京道場でも「鏡」にまつわるお道具があり、一層心に刻み込まれました。「自分自身を自分の目で見ることはできない。鏡を使って見たとしても、それはあくまでも鏡に映った像であつて実物ではない。では、どうするか？ 自分を見てくれる本当のことを教えてくれる他人を作る。」と御家元は仰いました。けれども、なかなか本当のことを言ってくれる人はいません。きつと本当のこととは私の耳には嫌なことだからでしよう。ならばこれからは、嫌なことを言ってくれる人を大切にしなければと思ひ至りました。

四六時中忙しい気持ちがあつて、朝夕に実際の鏡にすらじつくり向き合つ余裕のない今日この頃。御家元の「鏡」となつてくれる人を見る」の言葉を心に、メタボ注意報な自分から目を逸らさず向き合つてい

の趣味の話など、初対面でも話題に困ることなく会話が弾みました。翌日以降もお互いの「マイブーム」を話したり、交流アイテムとしては大成功だったのではないのでしょうか？

早稲田大学のアカバポーカーグループによるライブもあり、「夜空ノムコウ」や「宙船」などを一緒に歌い、盛り上がりうちに終了しました。

翌日、昼休憩の前にお家元が「昨晩名刺を数えましたら、二百あまりしかありません。参加者（約五百名）の方の中で、時間に制限があつたせいで交換しなかったけれど出来なかつたという方があつたのでは申し訳ないので、昼休憩のうち二十分、会場前に立つておられますので、名刺交換したいとおっしゃる方は来て下さい」という異例のお申し出があり、急遽会場前のホールが再び名刺交換会場になりました。

お家元がただ交換しただけではなく、一枚一枚丁寧に数えて下さったこと、休憩時間を削つてまで青年部員の気持ちを汲んで下さったこと、とてもありがたく思ひました。

帰宅後、交換した名刺を眺めていると自分あの晩会場にいたことや、その中で出会つた縁の有難さを思います。

また、交換できた名刺はほんの数枚ですが、その後には何万という仲間や先輩、そして指導者がいるんだという心強さや安心感を得ることもできました。

## グループディスカッション

【水の郷青年部 堀 由紀恵】  
一日目の夜、六名ずつのグループに分かれてディスカッションが行われました。

私が参加したグループのテーマは「青年部の魅力とは？」で、初めて顔を合わせたメンバー

## 東京道場

【比叡青年部 三尾 浩美】  
「ん？ 簡茶碗？」  
「え？？ 銘が大雷？」

三日目、お家元のご招待で、東京道場の見学・お茶席に四十九名が参加致しました。利休御祖堂を拝見した後、竹有軒で濃茶席、坐雲の間で薄茶席を業株先生方におもてなし頂きました。

今回は薄茶席のお運びや案内を、実行委員の方とL.Tの仲間とお手伝いさせて頂きました。

そこで学んだ事：  
「夏だから平茶碗という概念にとらわれず、道具組をした方がよい。今回の道具組はお家元からこれからの青年部に対する思いや期待が込められています」

「…なるほど」

広い視野で物事を考えるというテーマを頂き、お茶の世界の奥深さ・魅力にまた一段と引き込まれました。

充実したサマーコンファレンスでした。

## 基調講演

【春日野青年部 向井奈保子】  
まず、第三回サマーコンファレンスに参加させていただけただけを感謝します。

今回、基調講演をされた京セラの稲盛和夫名誉会長のお話は、「自身の生い立ちや、歩んで来られた道を振り返つてのご経験に基づいたお話でしたが、お聞きしていると、決して始めから今の地位が約束されていた境遇でなかつたことに驚きました。

そのような経験から、人の運命は変え



国際交流研修 IN サイパン

今回の第二回国際交流研修は、大本山妙心寺縁の友好親善団体、社団法人南太平洋友好協会のご協力のもとアメリカ合衆国自治領サイパンへ戦没者慰霊と現地学生・青少年との茶道交流を主たる目的として開催されました。海外において「一皿からピースフルネスを」の実践、そして会員研修と事業計画及び運営の過程を通じてのリーダーシップの育成と、青年部としてふさわしい国際交流に努めました。

【丹の国青年部 大山 義道】

サイパンに到着して二日目、「中部太平洋戦没者の碑」において、先の大戦によって亡くなられた方の御魂に対して植田プロック長のお点前のもと、奉茶の儀が厳粛に執り行われました。奉茶に先立ち、御園棚を清める儀式、浄道場を青年部のメンバーで行いました。たまたま米澤副プロック長、木村さん、そして私と僧侶がメンバーにいたこともあり、三人で何か出来ることはないかと米澤副プロック長の提案によるものでした。米澤副プロック長の朗々とした散華の偈、そして木村さんのお寺オリジナルの大変美しい散華が舞う様子が印象的でした。その後社団法人南太平洋友好協会様御先導による法要が厳かに執り行われました。途中南国特有のスタイルに見舞われましたが、無事すべてを円成することができました。

【国際交流委員会委員長 宮津青年部 丸山 亨子】

担当委員長としての参加でしたが、本場にすべての方のお力でお出来たと改めて感謝です。サイパンで思い出できた方々との交流を思い出し、日本文化としてのお茶をもっと深く知りたくなりました。有難うございました。



〈国際交流研修INサイパン日程〉				
日時	都市	時間	日程	
9月5日 土	関西空港 サイパン	08:30	関西空港集合 結団式	
		10:30	空路、サイパンへ	
		15:10	到着後、バスでホテルへ	
		17:00頃	チェックイン	
		18:30	ホテルにてウエルカム呈茶&ディナー (国際交流委員会担当)	
		21:00	部会ミーティング等	
9月6日 日		08:00	集合、準備	
		09:00	中部太平洋戦没者慰霊の碑にて 法要及び奉茶	
		午後	憩親会準備	
			茶会準備	
		18:00	憩親会 (サイパン知事・市長・日本領事等を迎えて) 二次会	
9月7日 月		08:00	集合	
		08:30	交流茶会準備	
		10:00	開始	
		13:00	撤収	
		午後	自由行動	
9月8日 火	サイパン 関西空港	13:00	午前自由行動	
		16:20	ホテル集合 ミーティング	
		19:05	サイパン発 関西空港着 解団式	



▲法要



▲交流茶会



▲体験コーナー

られる、与えられた境遇を嫌々嫌々と嘆いたり、諦めて投げ出してしまおうのではなく、ありのままを受け入れて、善い事を思い描き、善い事を行っていれば必ずよい方向に変えられる(立命)ということを教えてくださいました。

しかし、氏はそのようにして得たはずの幸運に対しては、幸運もまた神が与えた試練と捉え、「上手くいっている時こそ高慢にならないように、自身を常に戒めていた」とも話されました。そういう所が今の地位が与えられた所以なんだと知りませう。「...とはいつても人間ですから、いつも自分の中に卑しいエゴを抱えています。そんな自分が出て来ないように、美しいやさしい心が元気に育つように、心の庭をいつも手入れするようにします。雑草を放っておくと美しい花が負けてしまいますからね。自分の心を常に整えること。自分はこうありたいと心で思うことが大切です。」

人生は心の持ち方ひとつで素晴らしく変わる...座右の銘とさせていただきます。

学校茶道との連携を考える

【飛火野青年部 水島 華子】

「茶の湯は日本のポータルサイト」を考える上で欠かせないのが青年部よりさらに若い世代である学校茶道で初めてお茶に触れる人達の存在ではないでしょうか?

今回、大学の部活動で茶道に取り組んでいた二人の学生と青年部の先輩方の貴重な意見を聞くことができました。学生は、それぞれ学生間での茶会がメインでやっているということ。また、青年部と合同で茶会をしたとしてもその日限りであることなどから残念ながら実のある交流とまではいかないようでした。私も学生さんと一緒に茶会を

淡交会青年部

【北山青年部 佐藤 孝子】

関根副理事長よりお話を伺いました。青年部の歴史から、現在の青年部の形になった経緯を話されました。

そして、前日のグループディスカッションをふまえて、青年部の魅力、理想のリーダー像についてなどご意見を頂きました。青年部の魅力については、社中を離れいろいろなことを体験できるということ、そして若く未熟であっても自分たちの力で茶会を作っていく楽しさ、目的達成の喜びを感じていただけよう「時分の花を咲かせる」場所として青年部があるということをご話されました。

してみて感じたことなのですが、もともと一緒に茶会を作っていくことで青年部の中にも学茶のフレッシュな活気も取り入れ、学茶の方も人生の先輩方から学ばず茶道だけでは幅広い交流が可能かと思えました。

学生に対して行ったお茶に関するアンケートも大変参考になりました。問題点は、大きくみて三つ。一つ目、茶道要千家淡交会の認知度が低いこと。二つ目は、お茶の楽しみの最たる部分であるとも言える、「様々な人との関わり」の部分での「楽しみ」を答えた学生の少なさ。三つ目は、せっかく始めた茶道を卒業後に続けるかどうか社会人になつてからの不安が多いことです。

どれも、青年部との交流コミュニケーションがあれば、解決する問題です。

このパネルディスカッションで分かったことは、青年部が主体となつてもっと学茶の方に働きかけをしていくことが大切であると感じました。まずは、地域の催しなど機会を見つけて、一緒に参加したり、青年部の茶会に招いてみてはいかがでしょうか?

L.Tの感想

【春日野青年部 森下 真樹】

最後に「飛び上がらなくていい、背伸びをしただけの範囲の挑戦をしてほしい」「希望とは厳しい覚悟をもった楽観主義である」という二つのメッセージを頂き、これからの青年部での活動にたくさんのヒントをいただいたように思います。

これからは少しずつでも前に進むこと、青年部らしくあることなど、ひとつひとつ考えて活動していきたいと思いました。

の福盛和夫氏が「人生について思うこと」の中では「善き事を思い、良き事を実行する」という言葉が私の心に印象的に残りました。また、日本画家千住博氏の現在の作品についてのことや日頃から考えている千住氏の想いを身近に話ができる機会がとても嬉しく思いました。

三日目はお家元のご招待で東京道場にて茶席・見学がありました。私達は全国委員の方と一緒に業林先生の指導のもと濃茶席・薄茶席に分かれて、お手伝いをさせて頂きました。茶席はお家元が考えられたお道具組でした。私は薄茶席を担当させて頂きました。業林先生と一緒に東京道場でお手伝いさせて頂くことがとても嬉しく、L.Tとして今回のサマコンに参加できたことをいつまでも忘れることがないと思います。

今回のサマコンファレンスは「茶の湯は日本のポータルサイト(入り口)」をテーマに行われました。講演やパネルディスカッションの話を聴いて、その後参加者同士が語り合い、お互いの絆を深めていく有意義な時間が流れていました。研修はともハードスケジュールでしたが、三日間お茶のことに没頭する事が出来ました。三日間を通して、お家元から「これからはすべてを受け入れ、一つずつ勉強し歩んでいきなさい」という温かくもあり激励の心を感じました。

最後になりましたが、全国委員の方々、プロック役員の皆様、不安げな私達参加者を親切にサポートしていただきありがとうございました。サマコンに参加させていただいたことはこれからのそれぞれの茶の道を後押ししてくれるよい機会だと思えます。また、行ったことのない青年部の皆様、是非次回サマコンに参加して下さい。



■次年度役員ブロック研修会

平成二十年十月十二日  
場所／平安会館

国際交流研修INサイパンの報告を兼ねた最後の研修会となりました。ご来賓に、総本部、全国委員長、全国代表者会議議長をお招きし、青年部の現状、今後のアドバイス等についてお話を頂きました。講演会では、大西清右衛門氏の映像を交えた貴重なお話に「釜」の製作工程、扱い等多くの事を学びました。

分科会では、青年部発展のために、次年度部長等新旧交えた会員からの活発な意見交換が行われました。後の懇親会では、福引きが行われ数々の景品も振舞われました。

青年部について見つめ直し、来期へ向けた有意義な研修会となりました。

〈スケジュール〉

- 12：00～12：50 受付・呈茶
- 13：00～13：20 式典
- 13：20～13：35 総本部報告
- 13：35～14：05 青年部全国委員会講演
- 14：05～14：20 国際交流研修INサイパン報告
- 14：30～15：50 講演会  
講師：大西清右衛門氏
- 16：00～17：30 分科会
- 17：40～19：30 懇親会

〈ご来賓〉

- 淡交会総本部組織部課長 外村邦浩氏
- 青年部全国委員会委員長 宮本英光氏
- 青年部全国代表者会議議長 吉岡敏正氏

〈講師〉

- 釜師 十六代 当代 大西清右衛門氏



《平成19年度・20年度・行事報告》

■平成19年度

- ・ 2月4日 協議会
- ・ 5月13日 研修会「お茶で一服、落語で一服」
- ・ 6月17日 裏千家学生茶道研究会合同茶会
- ・ 8月25～26日 会員大会
- ・ 12月9日 協議会・研修会

■平成20年度

- ・ 2月3日 協議会
- ・ 3月9日 ブロック茶会
- ・ 6月22日 裏千家学生茶道研究会合同茶会
- ・ 7月18～20日 サマーコンファレンス
- ・ 9月5～8日 国際交流研修INサイパン
- ・ 10月12日 研修会（次年度役員ブロック研修会）
- ・ 12月7日 協議会

●編集後記●

ひとつ行事を終えるごとに新しい出会いがあり、お茶の仲間が増えていきました。裏千家学生茶道研究会の学生さん、国際交流研修でのサイパンの方々…。青年部を越えての広がりもあり、しみじみと「一壺からピースフルネスを」を実感いたしました。

今回の「同風」はこの感動を少しでも多くの皆様にお伝えできればと、紙面をカラーにしてみました。楽しい思い出とともにこの二年を振り返っていただければと思います。

最後に本紙の発行に際しまして、多くの皆様のご協力をいただき、心より感謝しお礼申し上げます。ありがとうございました。

副ブロック長 木下 圭子